講義題目　「学問への扉」イノベーション/リーダーシップ入門

担当教員　森 勇介　谷川智之　片山竜二　上向井正裕（工学研究科電気電子情報通信工学）　松行輝昌　（共創機構）

授業の目的と概要

グローバル化やデジタル化などにより激変する現代の世界において、イノベーションは新しい価値を生み出し、それを社会に浸透させる重要な活動です。この授業では、イノベーションに関する知識を学ぶだけではなく、イノベーションを引き起こすリーダーシップについて学びます。このため、イノベーションとリーダーシップにおいて重要な知識や能力を身につけるとともに、イノベーションを実践されてきた各界のリーダーをゲストにお招きし、

みなさん自身がイノベーションを引き起こす人材となるための刺激とヒントを提供します。

また、授業運営の一部を受講生自身が行うことにより実践的なリーダーシップを身に着けます。また、キャンパス外での研修（任意参加）をプロジェクトとしてとらえ、プロジェクトの企画や計画の立て方を学んだり、希望者はこれに参加して実践したりすることもできます。

学習目標

１）リーダーシップとは何か説明できる

２）イノベーションを引き起こすリーダーシップのポイントを説明できる

３）イノベーションにおけるビジネスモデル、経営戦略、法律、テクノロジーの役割について説明できる

４）上記１）から３）をふまえて日常生活の中でイノベーションを引き起こすリーダーシップを実践できる

履修条件・受講条件

（受講理由書）

シラバスを熟読して、なぜこの授業を受講したいかを記載した受講理由書をメールで提出してください。提出内容はA4用紙一枚以内(Word ポイント11)とし、ファイルのヘッダーに提出日 氏名 学番 メールアドレスを表記すること。メールは<glp@osipp.osaka-u.ac.jp>宛、必ず表題に「2022イノベーション/リーダーシップ入門(受講者名)」を表記すること。締切4月末日。

授業計画（ゲスト講師の予定により変更の可能性あり）

第1回　オリエンテーション

第2回　イノベーションとリーダーシップ1

第3回　イノベーションとリーダーシップ2

第4回　阪大講義1

第5回　授業運営練習

第6回　プロジェクト運営練習１

第7回　ゲスト①

第8回　ゲスト②

第9回　プロジェクト運営練習２

第10回　ゲスト③

第11回　リーダーシップに関するプレゼンテーション

第12回　リーダーシップに関する振り返り

第13回　イノベーションと経営戦略

第14回　イノベーションとビジネスモデル第15回　イノベーションとテクノロジー

授業外における学習

（学外研修について）＊当日参加は希望者のみ

日程：　日程：　土日（1泊2日/日帰り）※　コロナ情勢により、変更する可能性あり

場所：　株式会社パソナグループ様研修施設（兵庫県淡路島）

参加費・交通費：　無料

2021年の内容例（日帰りの場合）

・施設見学 (ニジゲンノモリ、のじまスコーラなど)

・講義

・プレゼン＆ディスカッション（日本語/英語）

教科書・教材

・GLP共通テキスト（授業中に配布/CLEに掲載するリーダーシップに関するテキスト）

・その他適宜資料を用意する（CLE掲載または配布）

参考文献

以下の他は、講義中に指示します。

野村美明ブログ　http://nomurakn.blogspot.jp/　＝リーダーシップに関する教材や参考資料を掲載しています。「リーダーシップ」で検索してみてください。

マーティ・リンスキー,ロナルド・A・ハイフェッツ/竹中平蔵監訳『最前線のリーダーシップ』（ファーストプレス 2007年)（原著Ronald A.Heifetz "Leadership on the Line"(Harvard Business School Press, 2002)＝共通テキストが引用している本です。

『リーダー・パワー』ジョセフ・S・ナイ（日本経済新聞出版社2008 年）（原著Joseph S. Nye, Jr., The Powers to Lead, Oxford, 2008)＝共通テキストが引用している本です。

シャロン・ダロッツ・パークス／中瀬英樹訳『リーダーシップは教えられる』（ランダムハウス講談社、2007年）（原著Sharon Daloz Parks, Leadership Can Be Taught, Harvard Business School Press, 2005).

平田オリザ・蓮行『コミュニケーション力を引き出す』 （PHP研究所、2009年)

堀公俊『ワークショップ入門』日経文庫　2008年。プログラムデザインやファシリテーションスキルが学べます。

成績評価

①受講理由書，②平常点（役割分担＋発言内容＋振り返りシート＋自己評価＋相互評価），③学期末レポート, ④役割達成度（業務報告、メールのやりとり、プレゼンテーションなど）を加味して、総合的に評価します。

・受講理由書と学期末レポート（総合振り返り）の２つを提出することによって、受講前後で自分自身にどのような変化が生じたのかを実感できます。

・無断欠席した者は評価の対象としません。無断で遅刻・早退した場合も同様とします。

特記事項

この授業は、大学院国際公共政策研究科グローバルリーダーシップ・プログラム（GLP）の協力のもとに開講します。GLPで開講する科目を続けて受講することで、リーダーシップをよりよく理解し、身につけることができます。秋冬学期水曜6限の「リーダーシップを考える」は、この授業で学んだ考え方やスキルをより深く学ぶものです。また、秋冬学期木曜4限の「経営者と学ぶリーダーシップ」では、ビジネスにおけるリーダーシップを学びます。

受講生へのメッセージ

授業目的に共感し、対話型授業と協働作業に積極的に参加する学生を望みます。

※提出物に関しては、個人が特定できない形で、授業の改善や研究のために引用したり、ゲストに共有させていただく場合があります。